

TOSHIBA



EH99962501

R32 冷媒機種

東芝パッケージエアコン 取扱説明書

室外機 ヒートポンプ (形名)

ROA-RP1121H(Z)(ZG)(-IN)

ROA-RP1401H(Z)(ZG)(-IN)

ROA-RP1601H(Z)(ZG)(-IN)

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになるかたが代わられる場合は、必ず本書をお渡してください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示の説明

警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※ 1）を負うことが想定される内容”を示します。

注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※ 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※ 3）の発生が想定される内容”を示します。

- ※ 1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ※ 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
 ※ 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。






指示 指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

注意 注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

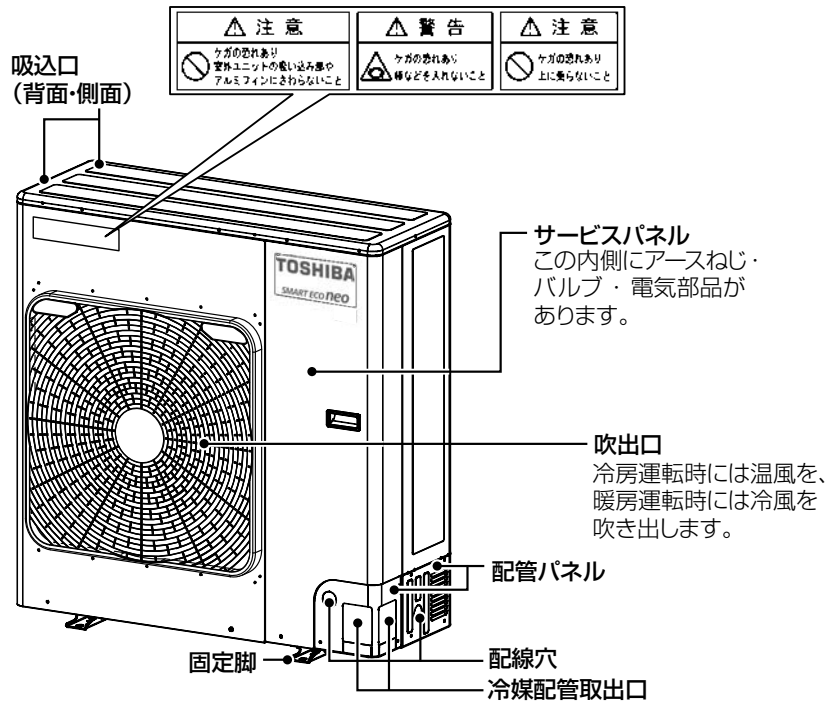
警告

| | |
|--|---|
| <p>！ 依頼する</p> <p>据付は販売店または専門業者に依頼する 据付には専門の知識と技術が必要です。ご自分で据付工事を行い、不備があると、火災・感電・けがや、水漏れなどの原因になります。</p> | <p>！ 電源ブレーカーを切る</p> <p>異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ連絡する 異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。</p> |
| <p>！ 依頼する</p> <p>冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回収業者に依頼する 冷媒充填・回収作業には、専門の知識と技術が必要です。不備があると冷媒ガスが漏れる原因になります。</p> | <p>禁止</p> <p>空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない 内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。</p> |
| <p>！ アースを確認する</p> <p>アース工事が正しく行われているか確認する 法律によるD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。</p> | <p>禁止</p> <p>改造は絶対しない 火災・感電・けがや水漏れなどの原因になります。</p> |
| <p>！ 依頼する</p> <p>エアコンを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 据付に不備があると火災・感電・けがや水漏れなどの原因になります。</p> | <p>禁止</p> <p>高圧洗浄機などによるエアコン洗浄は行わない 漏電によって感電や火災の原因になります。</p> |
| <p>禁止</p> <p>指定冷媒以外は使用（冷媒補充・入替え）しない 指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂・けがなどの原因になります。</p> | <p>！ 依頼する</p> <p>修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する 修理に不備があると火災・感電の原因になります。</p> |
| <p>！ 強制</p> <p>エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する エアコンに使用している冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。</p> | <p>！ 確認する</p> <p>配管工事が正しく行われているか確認する 既設配管を使用する場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。正しく施工されていることを据付業者に確認してください。据付に関することは据付説明書をご覧ください。R32用もしくはR410A用のツール・配管部材を使用してください。専用の配管部材を使用していなかったり、据付に不備があると破裂・けがの原因になります。</p> |
| <p>！ 据付場所を確認する</p> <p>可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない 万一ガスが漏れて室外機の周辺に溜まると、着火の原因になることがあります。</p> | <p>禁止</p> <p>フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。</p> <p>！ 漏電遮断器を確認する</p> <p>漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する 法規上、漏電遮断器の取付が必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。</p> |

⚠ 注意

| | |
|---|---|
| <p> 基礎に固定されているか確認する 固定方法を 確認する 基礎に固定しないと転倒による事故の原因になる ことがあります。</p> | <p> 掃除をするときは必ず運転を停止して、電源ブ レーカーを切る 電源ブレーカー を切る 内部でファンが高速回転していますのでけがの 原因になることがあります。</p> |
| <p> 室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない 禁止 落下・転倒などによりけがの原因になることがあり ます。</p> | <p> 室外機の吸込部やアルミフィンにさわらない 禁止 けがの原因になることがあります。</p> |
| <p> 1年に1度は、室外機の据付台などが傷んでいな いか点検する 強制 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によ りけがの原因になることがあります。</p> | |

各部のなまえとはたらき



エアコンの運転条件

エアコンを正しく使っていただくために、下表の条件で運転してください。
この条件以外の温度で運転すると、保護装置がはたらき、運転できない場合があります。

| ROA- | | RP1121H ~ RP1601H |
|------|------|-------------------|
| 冷房運転 | 乾球温度 | ※ - 15℃ ~ 50℃ |
| 暖房運転 | 湿球温度 | - 15℃ ~ 15℃ |

※ - 5℃以下で冷房運転する場合は、別売の「吹出ガイド」「防雪フード」を取り付けてください。

据付について

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

製品受け取り後、設置工事時の追加冷媒量・冷媒を充填した事業者名が記載されていることを確認してください。
(冷媒追加条件・追加量については、据付説明書をご覧ください。)

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量は「仕様」の項目に記載しています。
システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示しています。



据付場所の選定

- 万一、冷媒が漏えいした場合、冷媒が高濃度で滞留し可燃空間が発生するおそれがあります。
通気性を確保し、冷媒が滞留しないように設置してください。据付説明書の設置スペースを遵守してください。
- 高周波を発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・通信機器など）があるところはさけてください。
（エアコンの誤動作や制御の異常、それら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。）
- 腐食性ガスの発生するおそれのある場所で使用すると、故障の原因になります。
- 油（機械油を含む）の飛沫や蒸気の多いところ、海岸地区など塩分の多いところ、温泉地など硫化ガスの発生するところなど、
特殊な場所で使用すると故障の原因となります。ご使用の場合は特別な保守などが必要になりますので、販売店にご相談ください。
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。
- 強い風が室外機の吹出口に向かって吹き付けるおそれのあるところはさけてください。
（強風をさけることができない場合は、別売の吹出ガイドをご使用ください。）
- ドレンが問題になるような場所ではドレン配管を施してください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 降雪地区でのご使用の場合は、室外機に防雪架台・別売の防雪フードなどを取り付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご使用ください。
- 室外機の吹出口・吸込口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり、保護装置がはたらき運転ができないことがあります。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置くと、運転音増大のもととなります。
- 室外機の吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

移設および廃棄について

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の知識が必要ですので、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
このときのフロン類の回収処理費用を機器廃棄者にご負担いただくことになっておりますので、回収業者との間で適切な料金を取り決めてください。（第一種特定製品）
- フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。
- フロン類が回収済みであることを確認してください。
未回収の場合は、第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。

簡易点検は、3 ヶ月に 1 回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、または専門業者へ依頼してください。

| 簡易点検項目 | |
|----------|--|
| 室外機点検 | ・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など |
| 室内ユニット点検 | ・熱交換器の霜付きの有無 |

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。

簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/>

仕様

| 室外機形名 | | ROA-RP1121H | ROA-RP1401H | ROA-RP1601H | |
|-----------------|----------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 種類 | 機能 | 冷房・暖房兼用形 | | | |
| | ユニット構成 | 分離形 | | | |
| | 凝縮器の冷却方式 | 空冷式 | | | |
| | 送風方式 | 直吹き形 | | | |
| 電源 | | 三相 200V | | | |
| 圧縮機電動機定格出力 (kW) | | 2.26 | 3.36 | 4.06 | |
| 性能 | 定格冷房標準能力 (kW) | 10.0 | 12.5 | 14.0 | |
| | 冷房能力範囲 (kW) | 3.1～11.2 | 3.1～14.0 | 3.1～16.0 | |
| | 定格暖房標準能力 (kW) | 10.0 | 12.5 | 14.0 | |
| | 暖房能力範囲 (kW) | 2.6～12.5 | 2.6～16.0 | 2.6～18.0 | |
| | 最大暖房低温能力 (kW) | 12.3 | 14.6 | 15.1 | |
| 定格騒音 | 音圧レベル ※1 | 冷房 (dB(A)) | 57 | 57 | 58 |
| | | 暖房 (dB(A)) | 58 | 58 | 58 |
| | 音響パワーレベル ※2 | 冷房 (dB(A)) | 73 | 73 | 74 |
| | | 暖房 (dB(A)) | 74 | 74 | 74 |
| 総質量 (kg) | | 75 | 75 | 78 | |
| 外形寸法 | 高さ (mm) | 1,050 | 1,050 | 1,050 | |
| | 幅 (mm) | 1,010 | 1,010 | 1,010 | |
| | 奥行 (mm) | 370 | 370 | 370 | |
| 冷媒 (R32) (kg) | | 2.20 | 2.20 | 2.40 | |

※1：音圧レベル (SPL) は、JIS B 8616：2006 に準拠した値です。

※2：音響パワーレベル (PWL) は、JIS B 8616：2015 に準拠した値です。

- 上記の仕様値は、天井カセット形 4 方向吹出しタイプの室内ユニットとの組み合わせの場合です。その他の室内ユニットとの組み合わせの場合は、カタログなどをご覧ください。
- 製品は改良のため、仕様の一部を変えることがあります。
- 電気特性は製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 外気温が低くなると圧縮機保護のため、200V 電源から圧縮機に通電し、予熱するようになっていきますので、シーズン中は電源ブレーカーを入れたままご使用ください。この場合の消費電力は、約 50W です。
- 地球温暖化係数 (GWP) R32：675

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

省エネ法に関する表示については、別紙の《省エネ法に関する表示》をご覧ください。

冷媒漏えい点検記録簿

| 冷媒漏えい点検・整備記録簿 | | | | | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | | | 管理番号 | 補足事項 | | | | |
|---------------|----------|------------------|-----|-----------------|---------------|----------|-----------|----------|-------|--------------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 機器の 管理者の | 氏名・名称 | | | | 設備製造者 | | | | | | | | | |
| | 住所 | TEL | | | | 設置年月日 | | | | | | | | |
| 機器の 所在の | 施設名称 | 系統名 | | | 使用機器 | 分類 | 型式 | | | | | | | |
| | 住所 | TEL | | | | 製番 | 用途 | | | | | | | |
| 運転管理責任者 | TEL | | | 圧縮機電動機定格出力 (kW) | | | | | | | | | | |
| 点検 業者 | 会社名 | 責任者 | | | 冷媒量 (kg) | 合計充填量 | 合計回収量 | 合計排出量 | | | | | | |
| | 所在地 | TEL | | | | | | | | | | | | |
| 使用冷媒 | R32 | 冷媒の GWP 値 | 675 | 初期総充填量 (kg) | | | | | | | | | | |
| 作業 年月日 | 点検・整備区分 | 充填量 (kg) | | 回収量 (kg) | 点検内容 | 点検 結果 | 漏えい・故障の原因 | 漏えい・故障箇所 | 修理の内容 | 点検・修理・回収・ 充填業者名 | 技術者 氏名 | 技術者 No | 修理困難 理由 | 修理 予定日 |
| | | 回収戻し 充填量 (kg) | | | | | | | | | | | | |
| | 出荷時初期充填量 | | | | | | | | | | | | | |
| | 設置時追加充填量 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | | |

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

お電話・FAX をいただく際には、番号をお確かめのうえおかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル

トウシバ



0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038** (通話料：有料)

FAX 0947-32-8018 (通話料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この東芝パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- この東芝パッケージエアコンの保証期間については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後9年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。

「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用など点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、7ページの「冷媒漏えい点検記録簿」をご使用いただくか、または下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：<http://www.jarac.or.jp/>

修理を依頼される時は (出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

| | | |
|--------|----------------------|-------|
| 品名 | パッケージエアコン | |
| 形名 | | |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に | |
| ご住所 | 付近の目印なども併せてお知らせください。 | |
| お名前 | 電話番号 | 訪問希望日 |

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

修理料金の仕組み

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 技術料・部品代・出張料などから構成されています。 | |
| 技術料 | 故障した商品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |
| 出張料 | 商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。 |

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地